

スズサイコ	<i>Vincetoxicum pycnostelma</i> Kitag.	準絶滅危惧
(環境省:準絶滅危惧)		ガガイモ科
選定理由	分布域の一部において生育条件が悪化しており、種の存続への圧迫が強まっていると判断される。	写真(清水英彦) 
形態の特徴	多年草。茎は直立して高さ40-100cm。葉は対生、長披針形～線形で両端は尖り、ほとんど無柄。茎の先や上部の葉腋から集散状に疎らに花をつける。花冠は黄褐色～紫褐色で径10-12mm。	
生態的特徴	丘陵地から低山地の日当たりのよい草地に見られる。特に草刈り等により維持されてきた里山の草地や河川の堤防などに多い。花期は6-8月。	
分布状況	北海道、本州、四国、九州、琉球に分布する。岐阜県においてはほぼ全域に見られる。	
減少要因	本種の生育環境である丘陵地は、人間の生産活動の活発な場所でもあり、改変により生育地が消失している。また生育地の管理放棄による植生遷移の進行が減少を加速させている。	
保全対策	丘陵地や低山地にある里山の草地は開発の影響を受けやすいため、可能な限り生育地の開発規制を行うとともに、草刈りや火入れによる草地環境の保全・管理を継続していく必要がある。	
特記事項		
参考文献	「日本の野生植物 草本Ⅲ 合弁花類」(佐竹義輔ほか(編), 1981年)	

文責:奥田浩之